

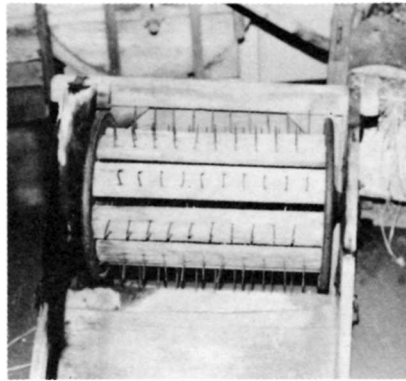
べん片を20本ぐらいくしの歯のようにうえこみ、これで穂をしごいたのです。

天気の良い日は外で、雨のときはにわでせんばこきを使ってこき、ふつうは1日3駄が1人前とされたそうです。

江戸時代から大正のころまで広く使われました。せんばこきの前はこきばしとって、竹のぼうを使っていました。



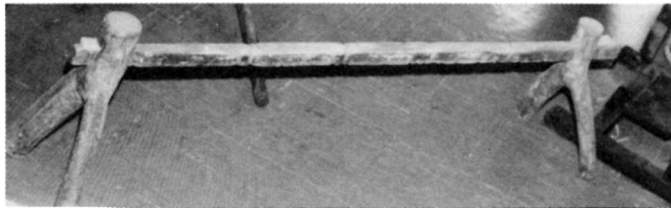
せんばこき



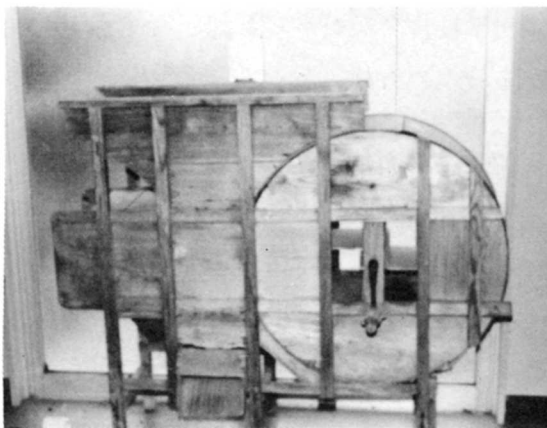
足ぶみいねこきき



じょそうき



たわらあみき



手まわしのだっこき

とう 唐 箕 (ごみやかるいもみをとばして米)
が中央下からでてきます。